

上越市の観光に関するデータ集2023

上越市文化観光部魅力創造課

目次

- I 調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- II 上越市の観光の現状・・・・・・・・・・・・ 3
 - 1 観光入込客数・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 2 宿泊・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 3 インバウンド・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - 4 観光消費額・・・・・・・・・・・・・・ 16
- III その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

——上越市の観光に関するデータ集とは？——

令和2年度を初年度とする「上越市観光交流ビジョン」は、観光の取組を行うにあたって、方向性を共有し地域一体となって取組を進めることができるよう、「A.観光マインドの底上げ」「B.受入環境の整備・充実」「C.プロモーションの工夫」「D.データの活用」の4つの「基本取組」を設定しました。

本書は、「基本取組」の「D.データの活用」に基づく取組として、当市の観光の現状や客観的なデータをまとめ、年々、変化が速くなっている観光の動向を把握するために作成したものです。

私が好きな上越の景色
伝えたい上越の魅力

#上越もよう
My Favorite Joetsu

上越市観光 けんけんす

I 調査概要

調査概要

1 調査の期間

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

2 調査内容

(1) 観光地点等入込客数調査（延べ人数）

四半期ごとに、観光地点の管理者、行祭事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計を実施。

(2) 宿泊者数調査

市内の宿泊施設を対象にアンケート調査を行い、稼働率や宿泊者の属性（県内・県外旅行者、外国人旅行者）について集計を実施。

(3) 観光地点パラメータ調査

市内の観光地点2か所を訪れた観光客を対象に、四半期ごとにアンケート調査を行い、属性別の構成比（出発地、宿泊客・日帰り客等）、平均訪問地点数等について聞き取りを実施。

3 その他

RESAS（地域経済分析システム）による分析

Ⅱ 上越市の観光の現状

1 観光入込客数

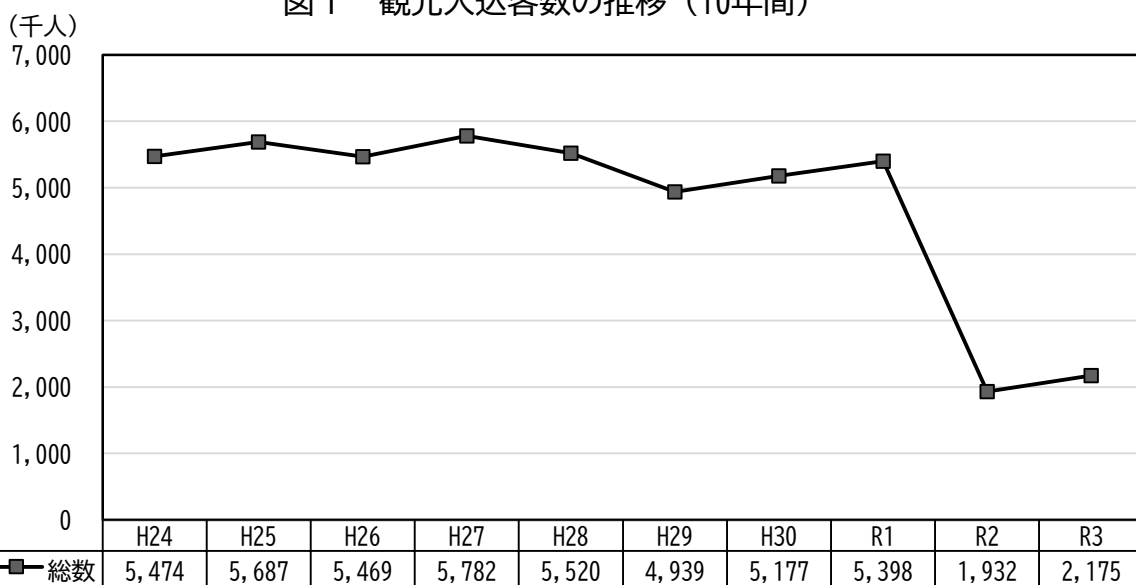
観光客の入込状況(概況)

- 令和3年の観光入込客数は、令和2年に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響による各種イベントの中止や延期があったものの、「上越市泊まって応援キャンペーン」や「使っ得！にいがた県民割キャンペーン」といった観光需要喚起策の展開により前年比では増加した。

総数 2,174,893人（対前年 +12.6%、+243,151人）

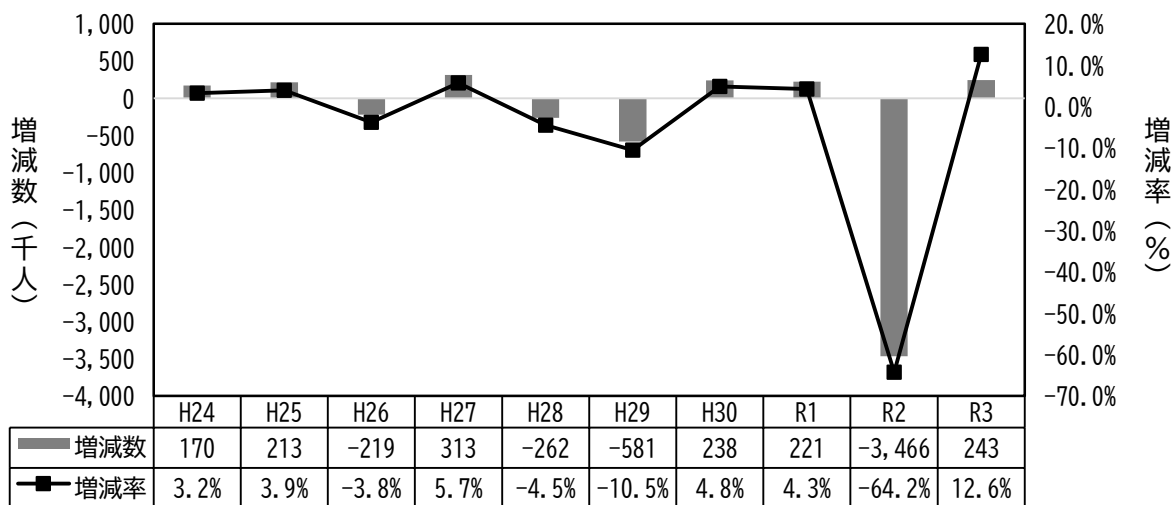
※ 令和2年総数 1,931,742人

図1 観光入込客数の推移（10年間）



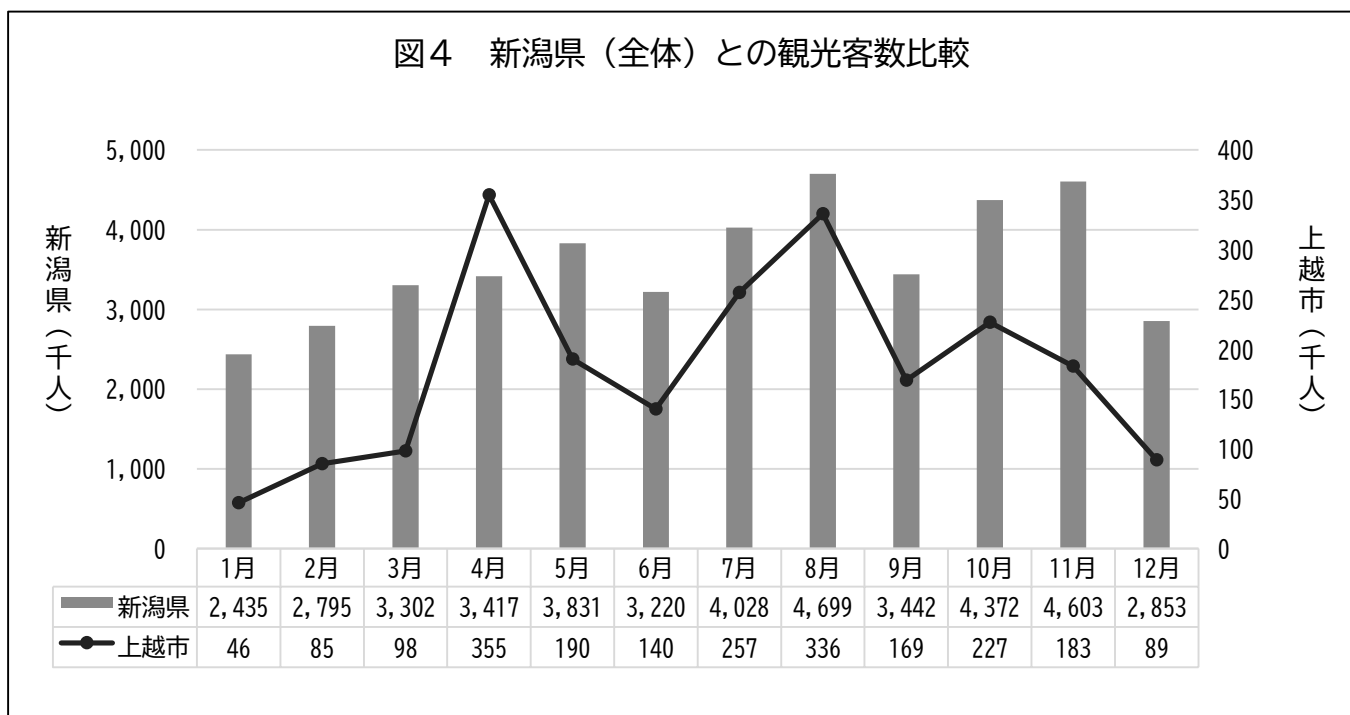
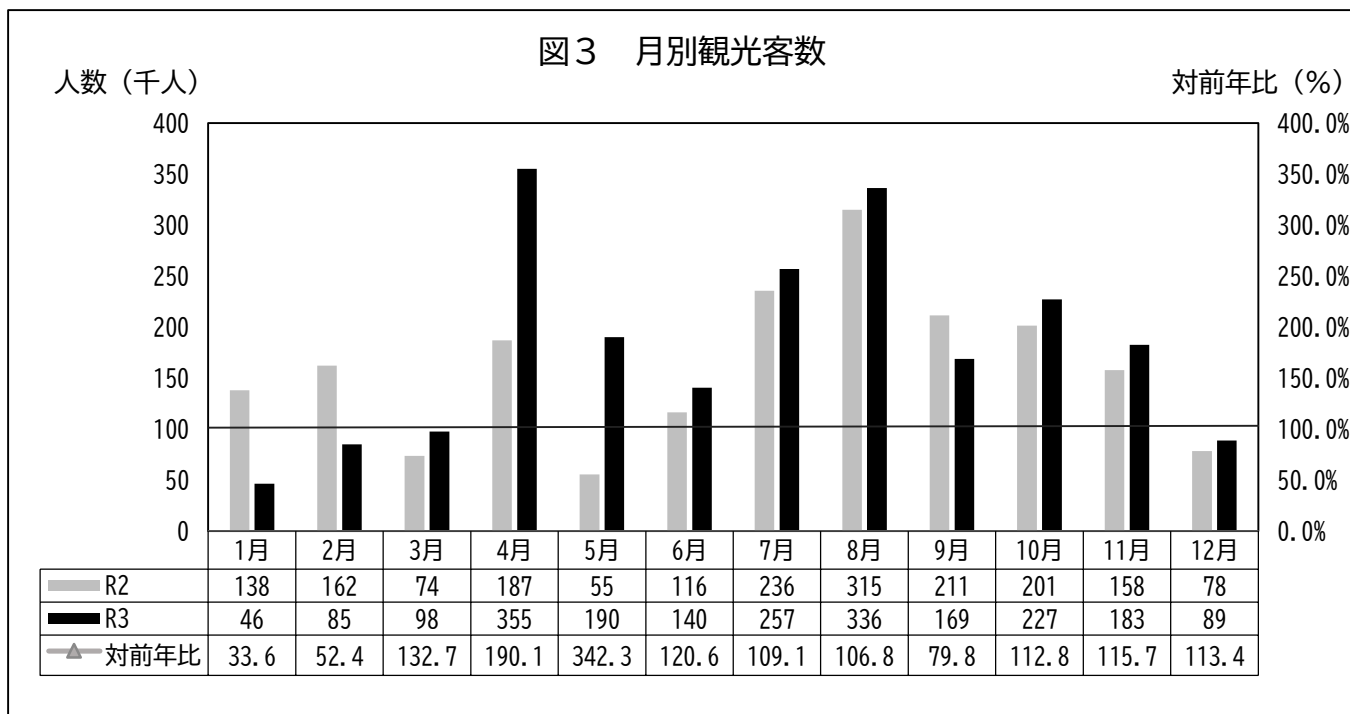
※端数処理（四捨五入）を行っているため、合計と内訳が一致しない場合がある（以降の図・表も同様）。

図2 観光客増減の推移（10年間）



延べ観光入込客数（月別）

- 「高田城址公園観桜会」の入込客数が増加したことや、令和2年5月の緊急事態宣言発令により休館した観光施設に入込が戻ったこと等の影響により、4・5月の入込数が大きく増加した。
- 新潟県全体と比較すると、月ごとの入込客数の振れ幅が大きい傾向にあり、入込が最も多い4月と最も少ない1月とでは、約31万人（1月入込数の7.7倍以上）の差が生じている。



上越地域（上越市・妙高市・糸魚川市）の観光入込客数（年間）

- 上越地域全体の入込客数は令和2年と比較して1.2ポイント減少。
- 新潟県全体（※上越地域含む）では、令和2年比で2.4ポイント増加していることから、コロナ禍における上越地域の観光需要回復が鈍化していることが窺える。
- コロナ禍の令和2年以降、上越地域における入込客数の5割以上を妙高市が占める傾向が続いている。

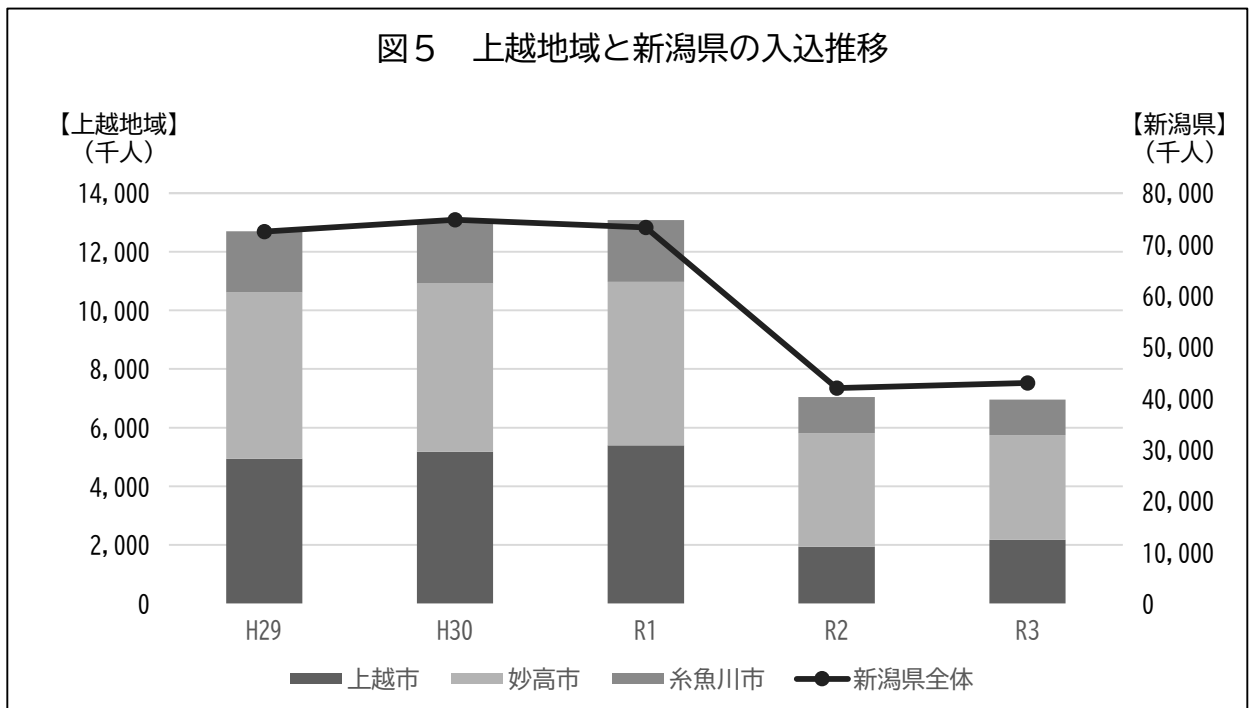
表1 観光入込客数の推移（5年間）

（人）

	H29	H30	R1	R2	R3	増減率
新潟県全体	72,477,709	74,828,029	73,303,449	42,006,752	42,997,139	2.4%
上越地域	12,694,999	13,003,064	13,082,033	7,039,702	6,952,433	-1.2%
上越市	4,938,539 (38.9%)	5,176,854 (39.8%)	5,398,033 (41.3%)	1,931,742 (27.4%)	2,174,893 (31.3%)	12.6%
妙高市	5,675,510 (44.7%)	5,737,460 (44.1%)	5,580,400 (42.7%)	3,881,790 (55.1%)	3,570,300 (51.4%)	-8.0%
糸魚川市	2,080,950 (16.4%)	2,088,750 (16.1%)	2,103,600 (16.1%)	1,226,170 (17.4%)	1,207,240 (17.4%)	-1.5%

※下段のパーセンテージは、上越地域の総入込に対する各市の入込の割合

図5 上越地域と新潟県の入込推移



上越地域（上越市・妙高市・糸魚川市）の観光入込客数（月別）

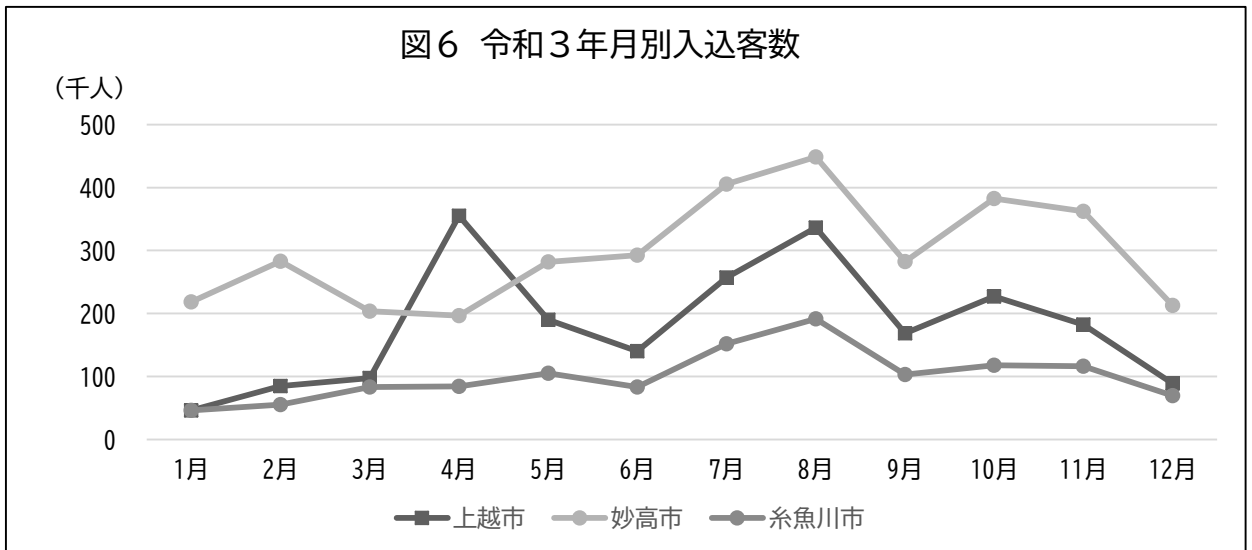
- いずれの市も7、8月に年間入込のピークを付ける傾向があり、この2か月間で年間総数の1/4程の入込がある。
- 4月の入込客数が突出して多い点が上越市の特徴であり、高田城址公園観桜会の影響によるところが大きいと推察される。

表2 令和3年月別入込客数（上越地域）

（千人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上越市	46	85	98	355	190	140	257	336	169	227	183	89	2,175
妙高市	218	283	204	197	282	292	405	448	282	383	362	213	3,570
糸魚川市	46	55	83	84	105	83	152	191	103	118	116	69	1,207
上越市（割合）	2.1%	3.9%	4.5%	16.3%	8.7%	6.5%	11.8%	15.5%	7.8%	10.4%	8.4%	4.1%	100.0%
妙高市（割合）	6.1%	7.9%	5.7%	5.5%	7.9%	8.2%	11.4%	12.6%	7.9%	10.7%	10.2%	6.0%	100.0%
糸魚川市（割合）	3.8%	4.6%	6.9%	7.0%	8.7%	6.9%	12.6%	15.8%	8.5%	9.8%	9.6%	5.7%	100.0%

図6 令和3年月別入込客数



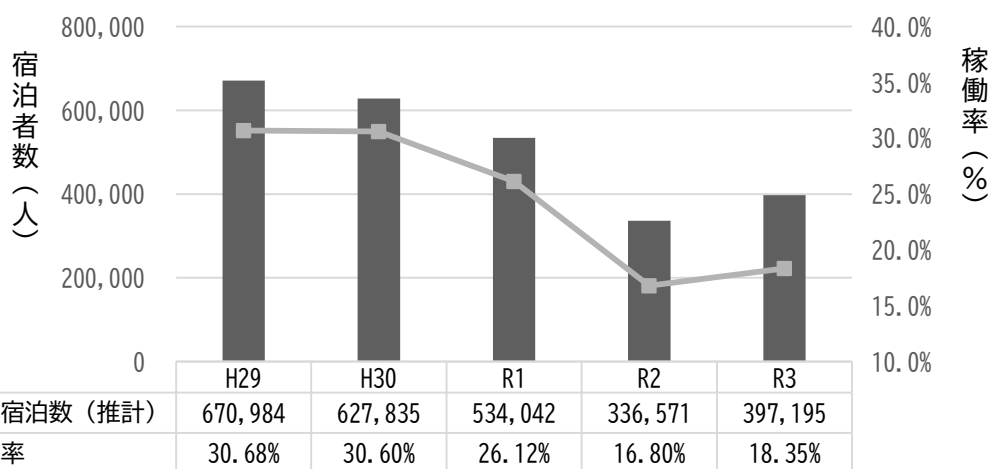
2 宿泊

上越市の宿泊者数（年間）

- 令和3年の市内全体の宿泊者数（推計値）は397,195人泊（前年比+60,624人泊）
- 令和3年の年間宿泊者数（推計値）と平均稼働率は前年比で増加したものの、コロナ禍前の水準には至っていない。
- 令和3年4月以降の宿泊者数は前年を概ね上回り、観光需要喚起策の展開が宿泊需要を後押しする形となった。

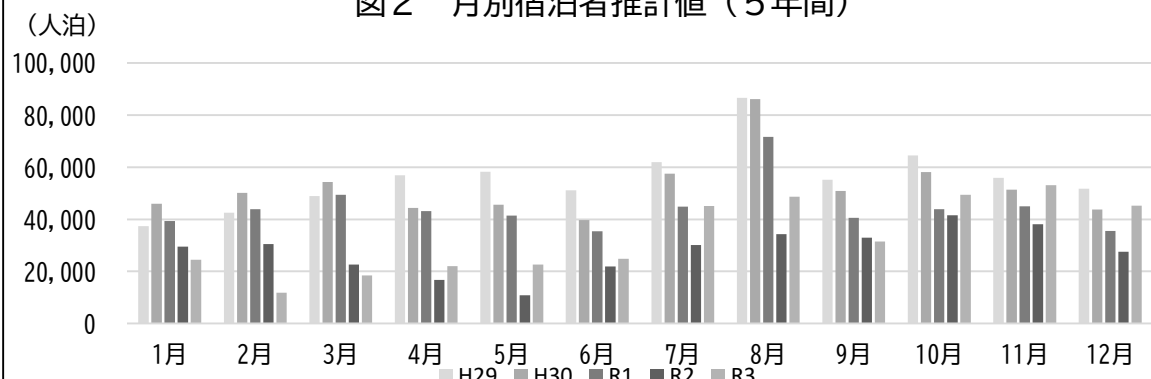
年	「泊まっ得！にいがた県民割キャンペーン」 (R3.3.8~R3.6.30)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
R3	24,526	11,769	18,414	22,015	22,637	24,900	45,084	48,618	31,454	49,360	53,145	45,272	397,195
R2	29,477	30,443	22,585	16,709	10,794	21,958	30,078	34,299	32,956	41,601	38,146	27,526	336,571
増減	▲4,951	▲18,674	▲4,171	5,306	11,843	2,942	15,006	14,319	▲1,502	7,759	14,999	17,746	60,624
伸率	-16.8%	-61.3%	-18.5%	31.8%	109.7%	13.4%	49.9%	41.8%	-4.6%	18.7%	39.3%	64.5%	18.0%

図1 年間宿泊者数（推計値）と平均稼働率の推移（5年間）



※稼働率は回答施設によって変動するとともに、回答宿泊施設が年によって異なるため単純比較はできない。

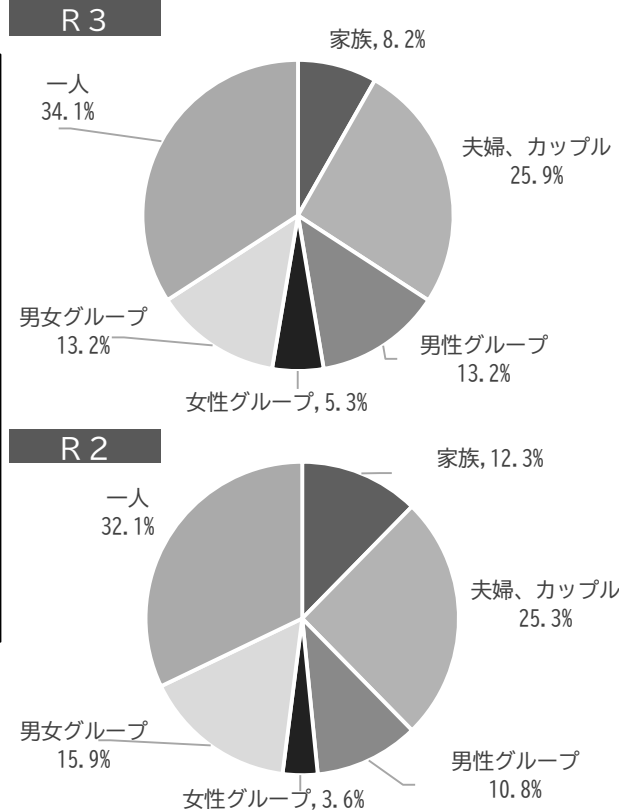
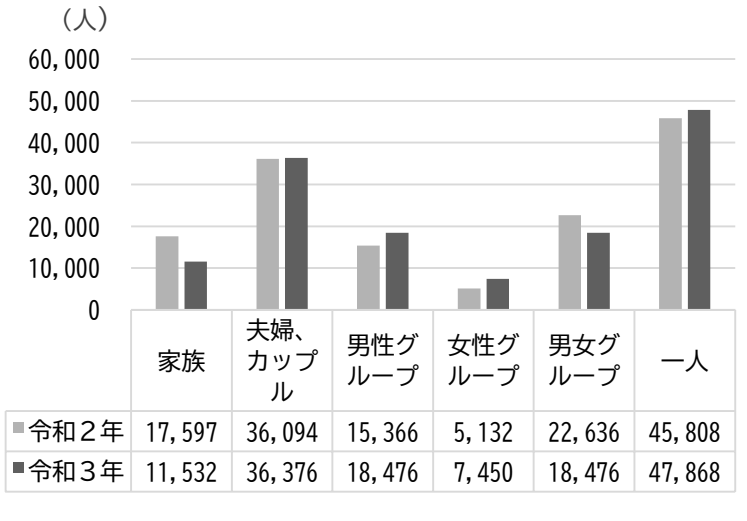
図2 月別宿泊者推計値（5年間）



上越市の旅行形態における傾向

- 令和3年の旅行形態別宿泊者割合は「一人」が34.1%と最も大きい一方、「家族」が8.2%、「女性グループ」が5.3%と小さく、令和2年の傾向と概ね一致している。

図3 旅行形態別宿泊者数



出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析（宿泊者）」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析（宿泊者）>市町村単位で表示する>属性別に見る>参加形態別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8、9の数値と一致しない。

地域経済分析システム（RESAS:リーサス）とは

RESAS（「Regional Economy (and) Society Analyzing System」の略）は、地域経済に関する様々な官民ビッグデータ（産業、人口、観光、農業等）をわかりやすく「見える化（可視化）」し、地方自治体による地方創生をはじめとする様々な取り組みを情報・データ面から支援するため、平成27年4月より内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部）及び経済産業省が提供しているシステムです。

（経済産業省北海道経済産業局 総務企画部企画調査課ホームページより）

<https://www.hkd.meti.go.jp/hoksr/20170209/resas.pdf>

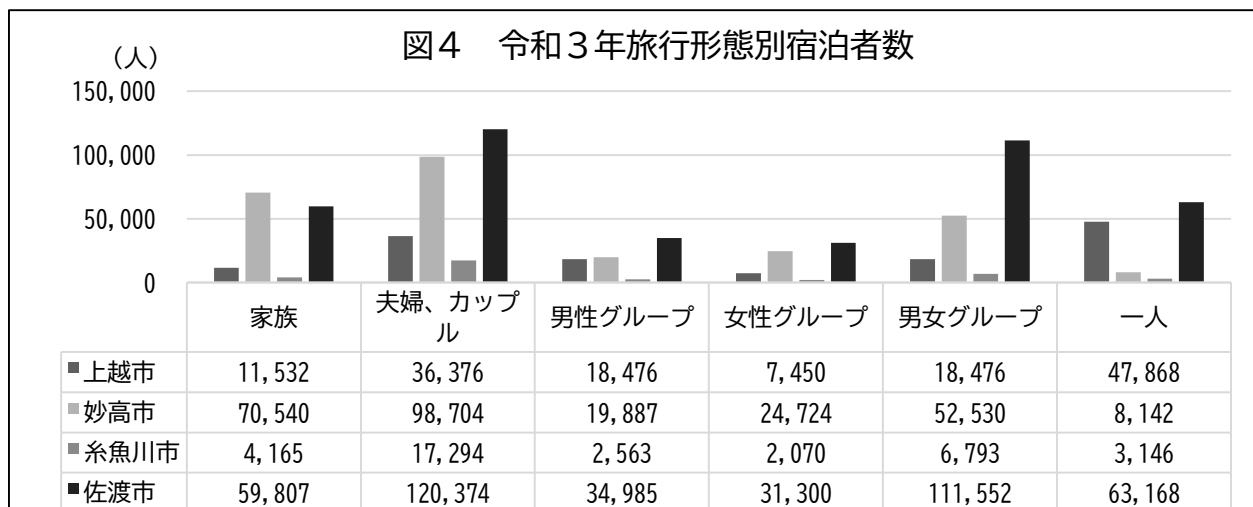
RESASの特徴

- ✓インターネットで誰でも利用可能
- ✓分かりやすい画面操作
- ✓データに基づいて、地域の実情を把握・分析できる

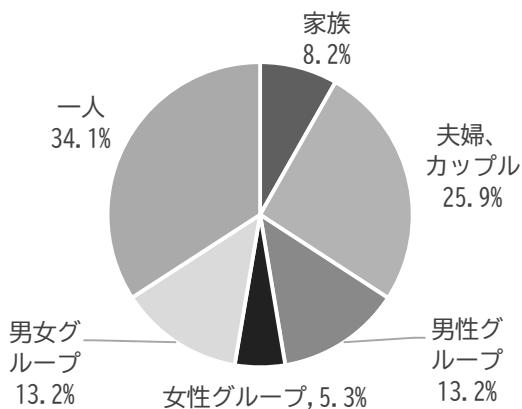
旅行形態における近隣市との比較

- 上越市は「一人」が全体の約34%を占めており、他市よりも一人旅需要が高いことが窺える。
- 一方「女性グループ」の占める割合は5.3%で他市と比べても割合が低いことから、女性集客による宿泊者数増加の余地があると考えられる。

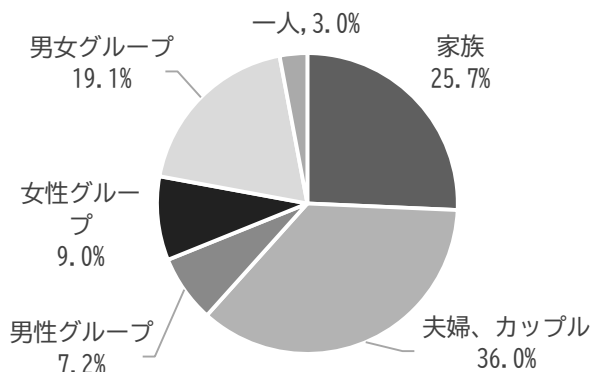
図4 令和3年旅行形態別宿泊者数



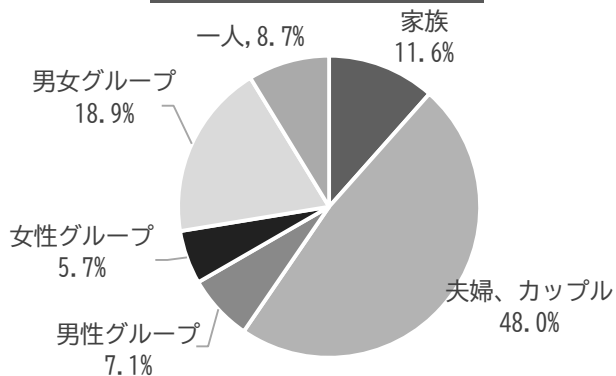
上越市 (R3)



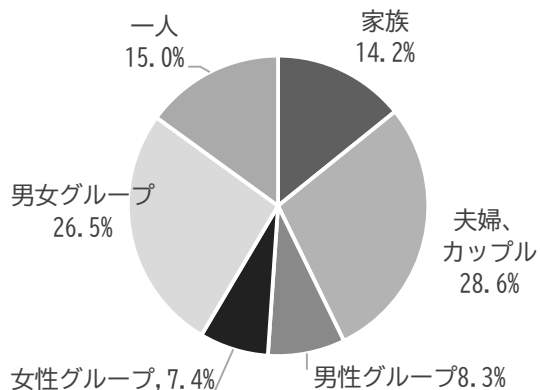
妙高市 (R3)



糸魚川市 (R3)



佐渡市 (R3)



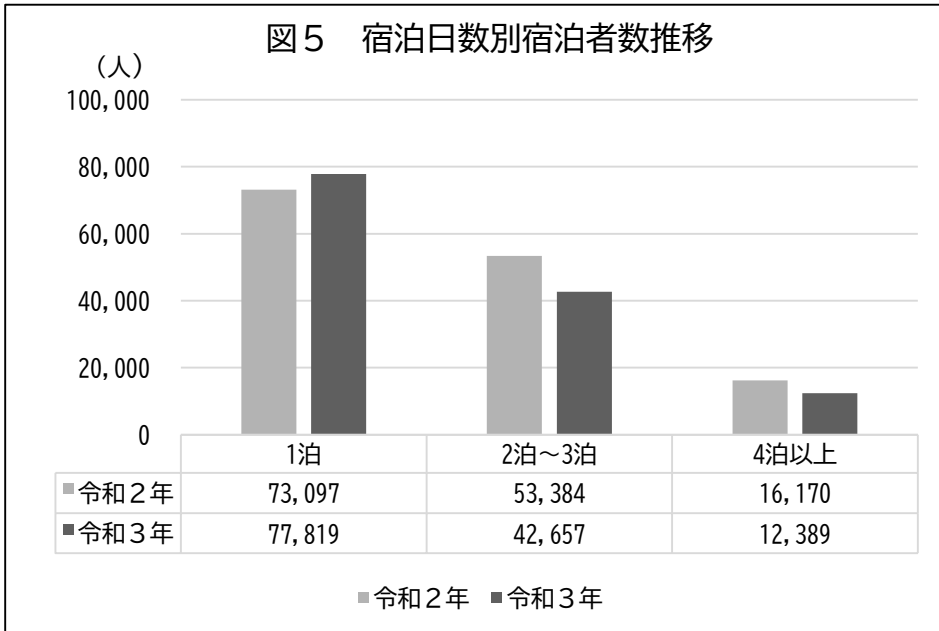
出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析（宿泊者）」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析（宿泊者）>市町村単位で表示する>属性別に見る>参加形態別で表示する

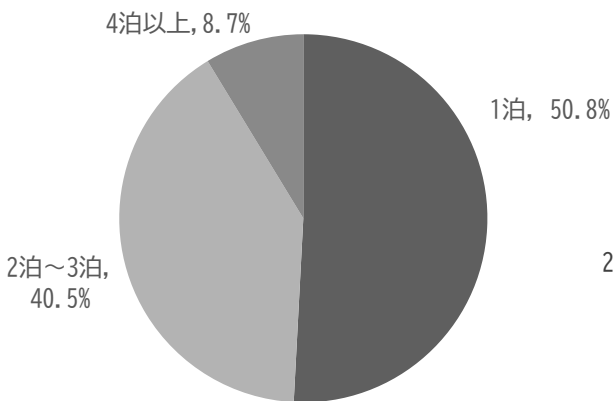
※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8、9の数値と一致しない。

上越市の宿泊日数における傾向

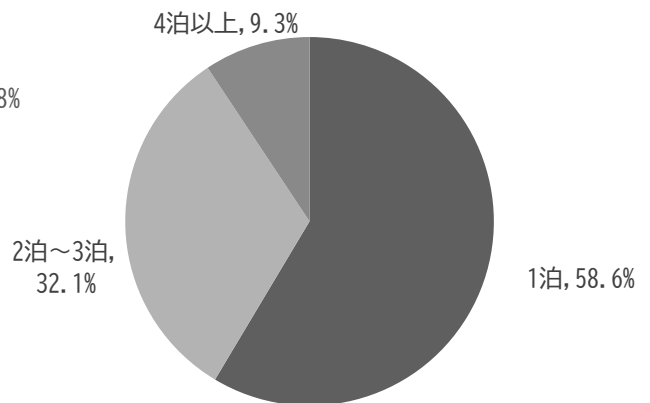
- 令和2年同様、宿泊日数別において「1泊」の割合が過半数を占め、2泊以上（連泊）する宿泊客は全体の半分以下である。



R2



R3



出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析（宿泊者）」分析

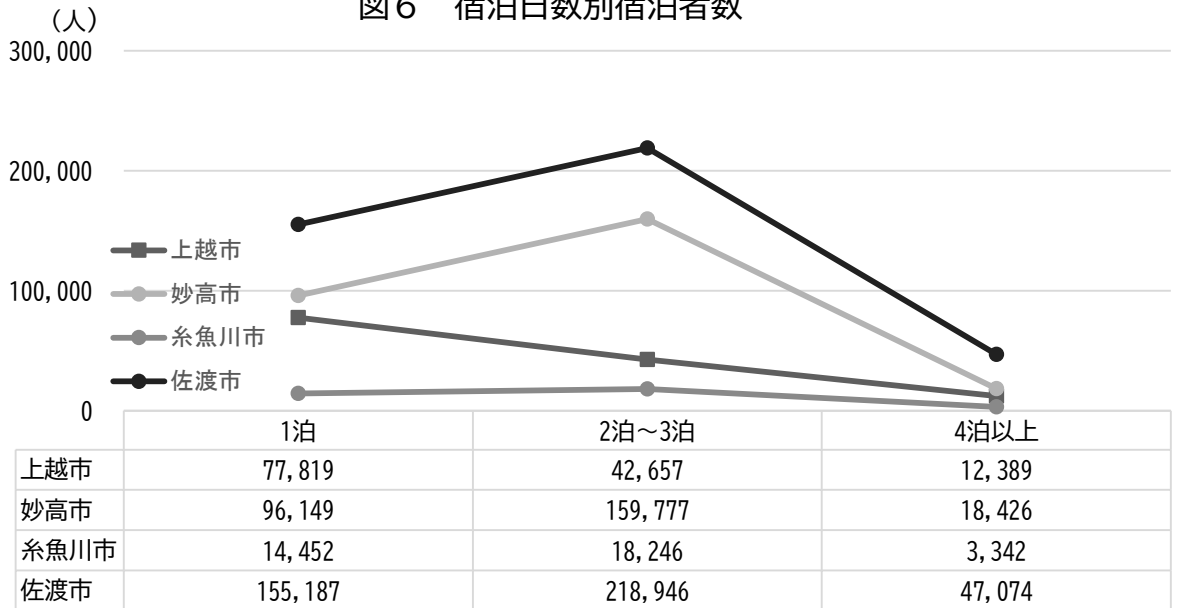
本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析（宿泊者）>市町村単位で表示する>属性別に見る>宿泊日数別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8. 9の数値と一致しない。

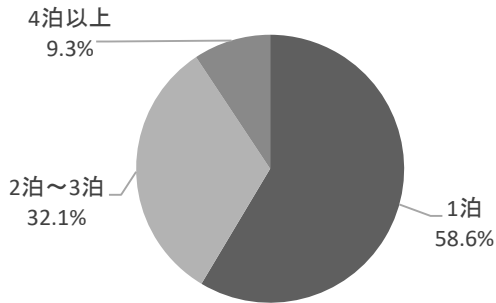
宿泊日数における近隣市との比較

- 上越市は「1泊」の割合が大きく、「2泊～3泊」の割合が過半数を占める他市と比較して、宿泊者の市内滞在時間が短い傾向にあると推察される。

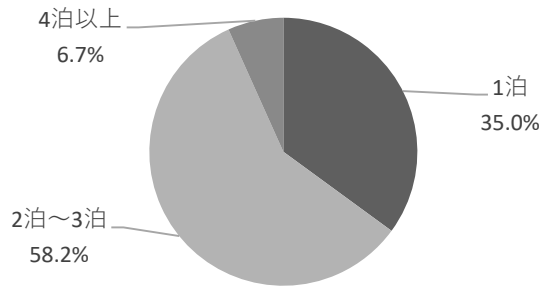
図6 宿泊日数別宿泊者数



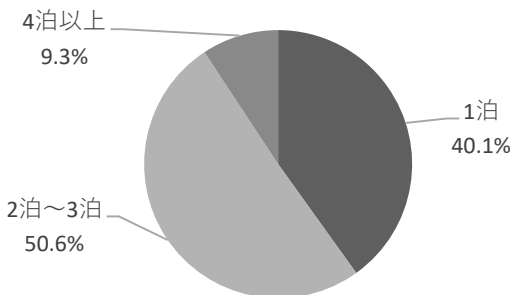
上越市 (R3)



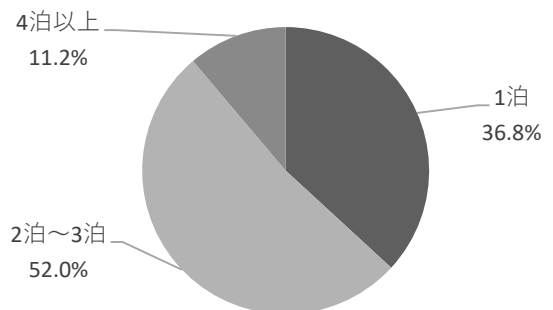
妙高市 (R3)



糸魚川市 (R3)



佐渡市 (R3)



出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析（宿泊者）」分析

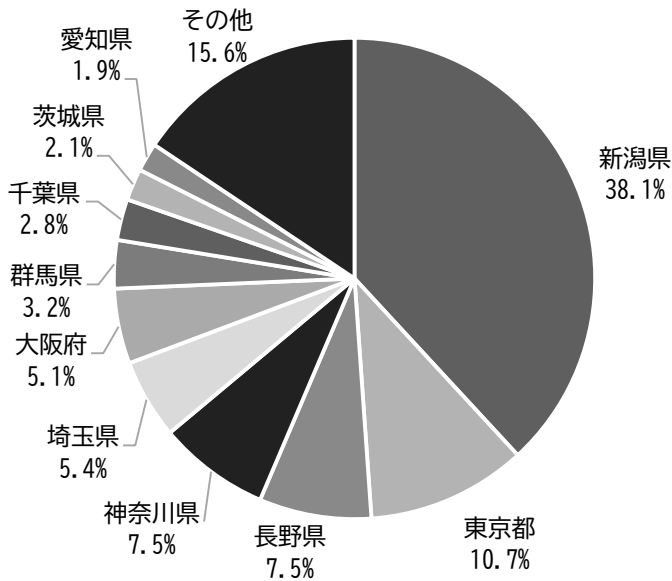
本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析（宿泊者）>市町村単位で表示する>他地域と比較する>宿泊日数別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8, 9の数値と一致しない。

上越市の都道府県別における傾向

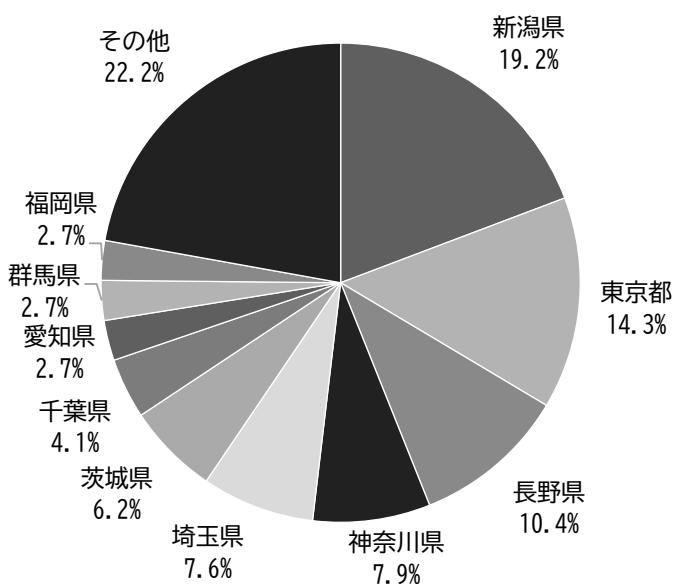
- 宿泊者の居住都道府県（どの都道府県から来たか）のうち上位5位は、令和2年と同一であり、全体的な傾向も概ね同様であった。
- 居住都道府県別割合のうち、「新潟県」が占める割合が前年比で約2倍となっており、新潟県民を対象とした宿泊割引事業の展開の影響によるものと推察される。

令和3年 居住都道府県別割合



1位	新潟県	50,665人	38.1%
2位	東京都	14,278人	10.7%
3位	長野県	10,022人	7.5%
4位	神奈川県	9,973人	7.5%
5位	埼玉県	7,111人	5.4%
6位	大阪府	6,713人	5.1%
7位	群馬県	4,308人	3.2%
8位	千葉県	3,667人	2.8%
9位	茨城県	2,830人	2.1%
10位	愛知県	2,545人	1.9%
	その他	20,765人	15.6%
	合計	132,877人	100.0%

令和2年 居住都道府県別割合



1位	新潟県	27,372人	19.2%
2位	東京都	20,342人	14.3%
3位	長野県	14,777人	10.4%
4位	神奈川県	11,276人	7.9%
5位	埼玉県	10,815人	7.6%
6位	茨城県	8,813人	6.2%
7位	千葉県	5,804人	4.1%
8位	愛知県	3,860人	2.7%
9位	群馬県	3,823人	2.7%
10位	福岡県	3,799人	2.7%
	その他	31,523人	22.2%
	合計	142,204人	100.0%

出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析（宿泊者）」分析 を基に上越市作成

本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析（宿泊者）>市町村単位で表示する>居住都道府県別に見る

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 8, 9の数値と一致しない。

3 インバウンド

上越市の国別外国人宿泊者

- 令和3年の外国人宿泊者数は886人泊（前年比▲292人泊）
- コロナ禍の影響を引き続き受け、令和3年1月からの水際対策強化もあり、前年に比べて宿泊者数が減少したが、7月は東京オリンピックの事前合宿の影響により大幅に増加した。

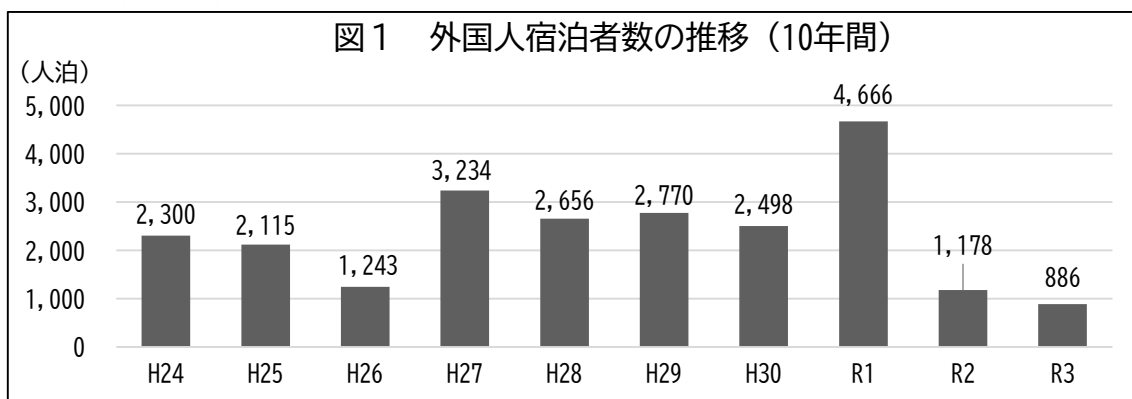
水際対策強化
R3/1/8～

東京オリンピック
(事前合宿含む)

単位 [人泊]

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R3	46	59	24	31	27	3	442	24	12	46	85	87	886
R2	543	394	38	19	14	16	31	26	19	25	17	36	1,178
増減	▲497	▲335	▲14	+12	+13	▲7	+411	▲2	▲7	+21	+68	+51	▲292
													-24.8%

※市の調査において回答があった施設の宿泊者数を合計したもの



R3 【地域別・国別】

地域別		国別	
アジア	251	中国	84
		韓国	54
		台湾	26
		フィリピン	10
		ベトナム	4
		シンガポール	2
		マレーシア	8
		タイ	2
		インドネシア	59
		インド	1
		その他アジア	1
北米	13	アメリカ	8
		カナダ	5
欧州	55	イギリス	44
		フランス	3
		スペイン	7
		スイス	1
その他・不明	567	不明	567
合計	886	合計	886

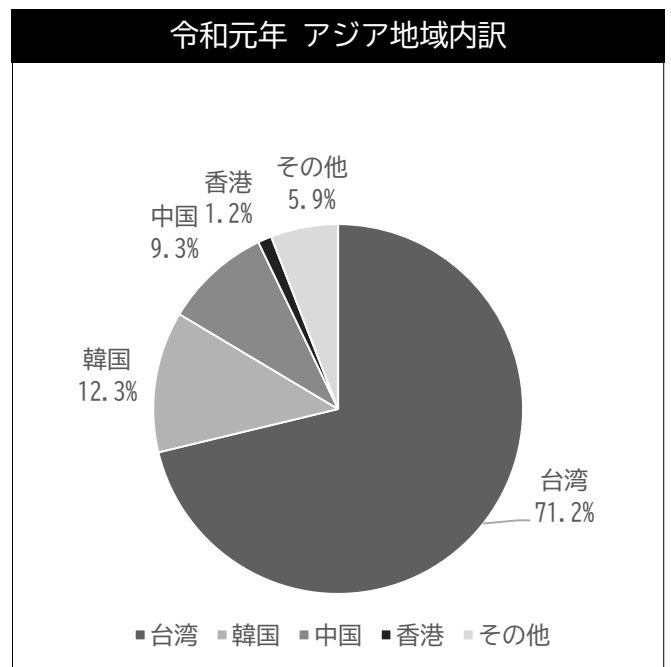
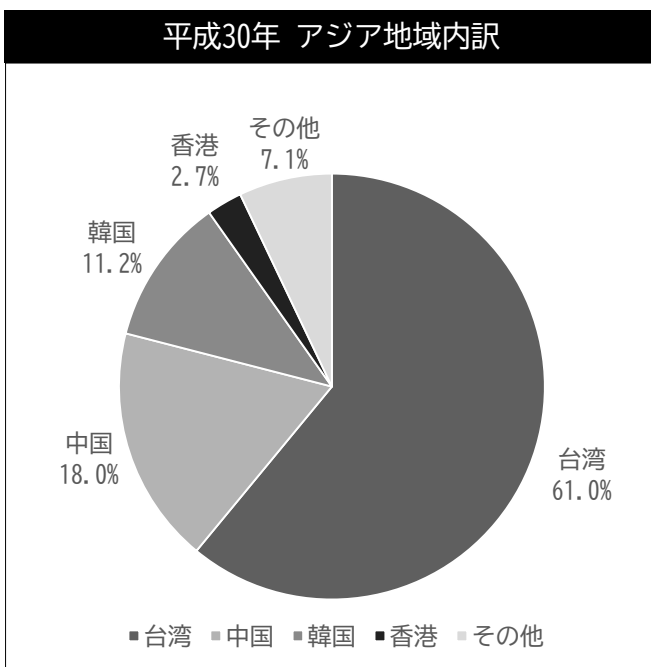
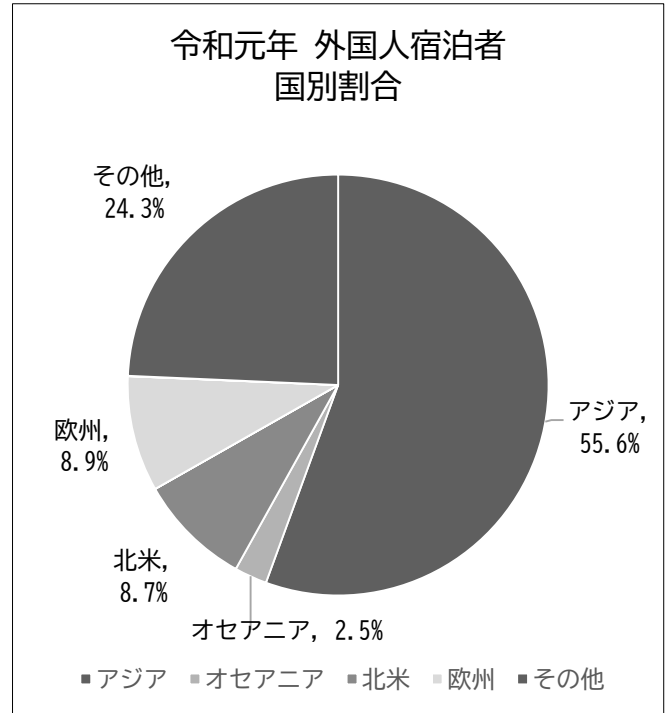
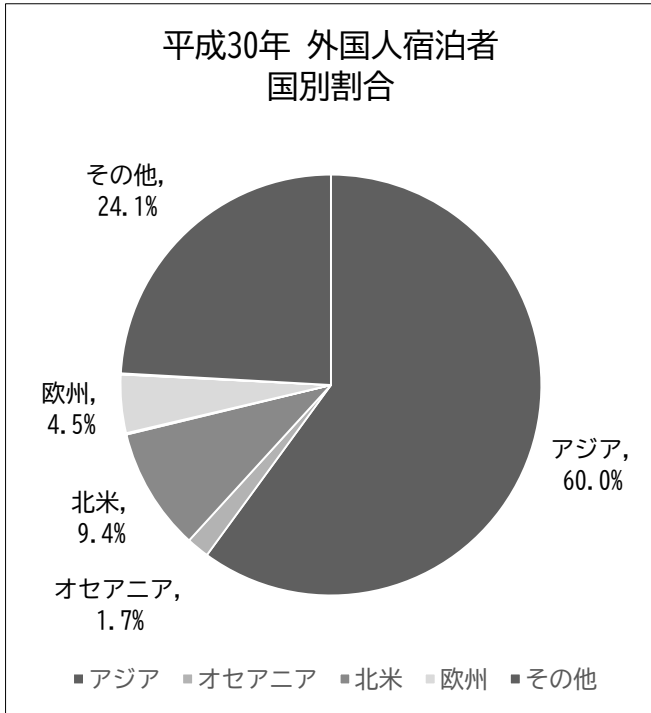
出典：H23～H26…観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に市で作成。

H27～H30…新潟県「外国人宿泊者数の県内別推計について」を基に市で作成。

R1以降…宿泊事業者への上越市独自調査を基に作成。（R1以降は県が個別数値の公表を取りやめたため、市独自調査の数値を記載）

【参考：コロナ前】国別外国人宿泊者の割合

- 上越市の外国人宿泊者割合を国別で見ると、アジアからの来訪が最も多く、全体の5割以上を占めている。アジア地域を国別で見ると台湾が最も多く、令和元年では71.2%を占めており、次いで韓国、中国の順に多い。
- 平成30年と令和元年では、欧州が4.4%増加したほか、北米とオセアニアは同水準で推移している傾向が見て取れる。また、アジア地域で見ると、台湾の比率が10.2%増加している傾向にある。



4 観光消費額

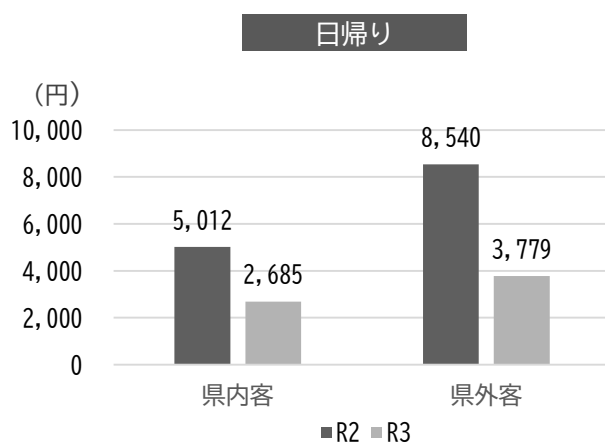
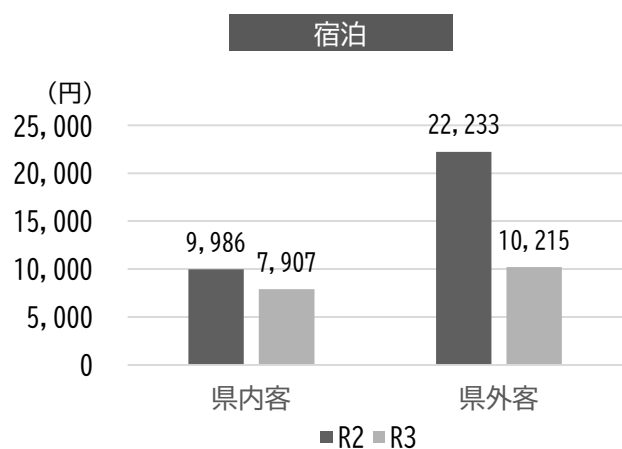
上越市の観光消費額

- 観光入込客の総消費額の推計値では、令和3年は60億5000万円で、令和2年から26億4400万円の減額となっている。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、近場での日帰り旅行や訪問地を絞った旅行が好まれる傾向にあったため、一人当たりの平均消費額単価は、宿泊客・日帰り客とも令和2年からさらに減少している。

	令和2年	令和3年	差額
観光消費額 (推計値)	86億9400万円	60億5000万円	▲26億4400万円

【観光入込客1人あたりの平均消費額単価】※日本人・観光目的

年	観光消費額単価（円/人回）			
	県内客		県外客	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
令和3年	7,907	2,685	10,215	3,779
令和2年	9,986	5,012	22,233	8,540
増減	▲2,079	▲2,327	▲12,018	▲4,761



出典：「観光入込客統計に関する共通基準（観光庁）」に基づき、上越市独自で観光地点パラメータ調査（聞き取り調査）を実施し、推計値を算出。

Ⅲ その他

どの程度的人数が市外から来ているか

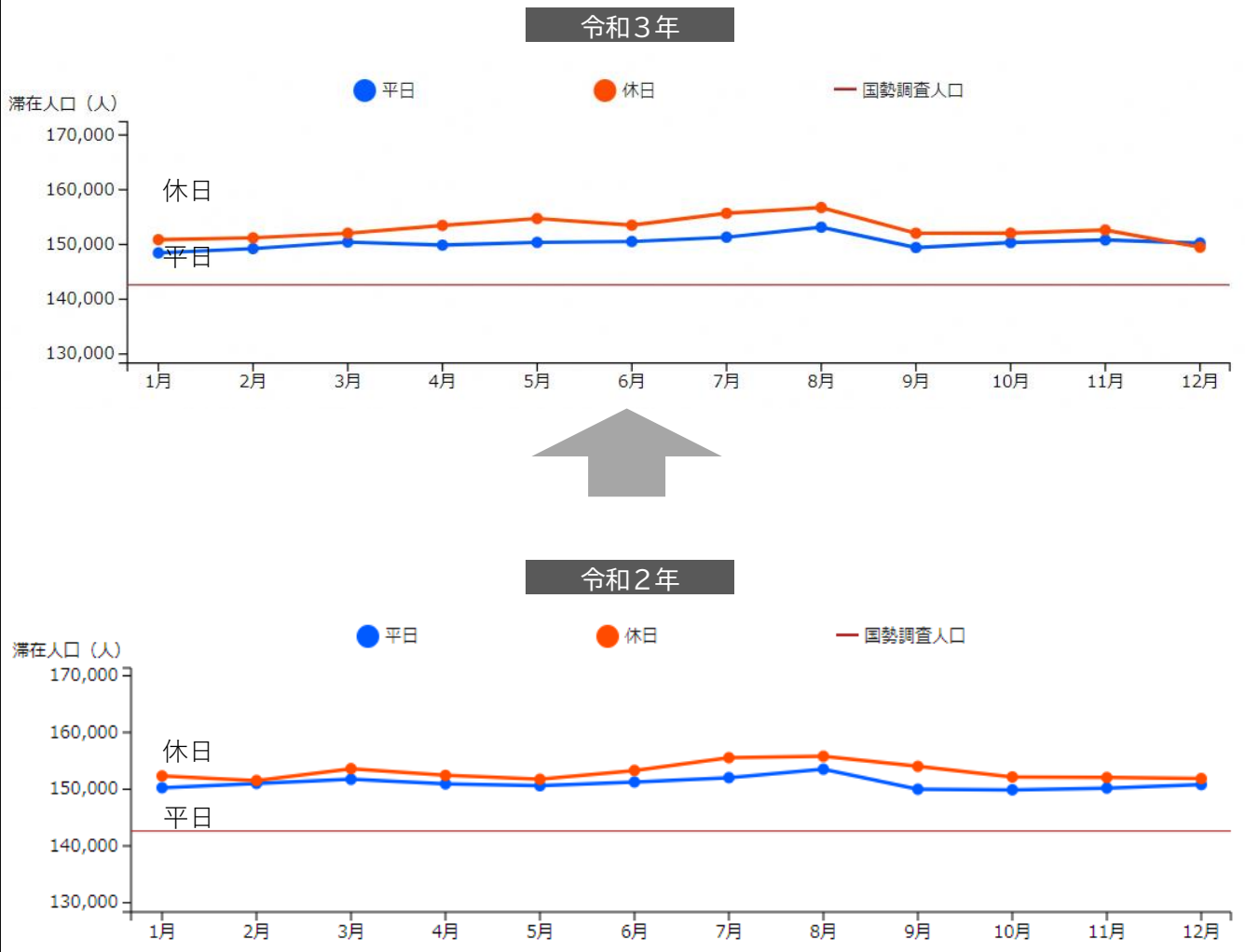
RESASの「滞在人口」分析は、国勢調査人口を基準として、どの程度的人数が市内に滞在しているか把握できるもの。

本頁は、昼間（14時）に滞在していた総数（15歳以上80歳未満）の月間平均値（平日・休日別）を表しているものである。

※上越市国勢調査人口（15歳以上80歳未満）…142,627人

- いずれの折れ線グラフも 国勢調査による当市人口を上回っていることから、平日・休日ともに、市外の人が上越市に滞在していると推察される。
- 4月～9月の休日滞在人口は平日を大幅に上回っており、グリーンシーズンの週末は当市への来訪人数が増加する傾向にあることが窺える。

滞在人口の月別推移（昼間 [14時] ）



出典：RESAS地域経済分析システム「滞在人口率」分析

本グラフの表示方法：まちづくりマップ>滞在人口率>表示年月日を指定する>表示時間帯を指定する>表示する性別を指定する（総数）>表示する年代を表示する（15歳以上80歳未満）>グラフを表示

どの程度の人数が市外から来ているか

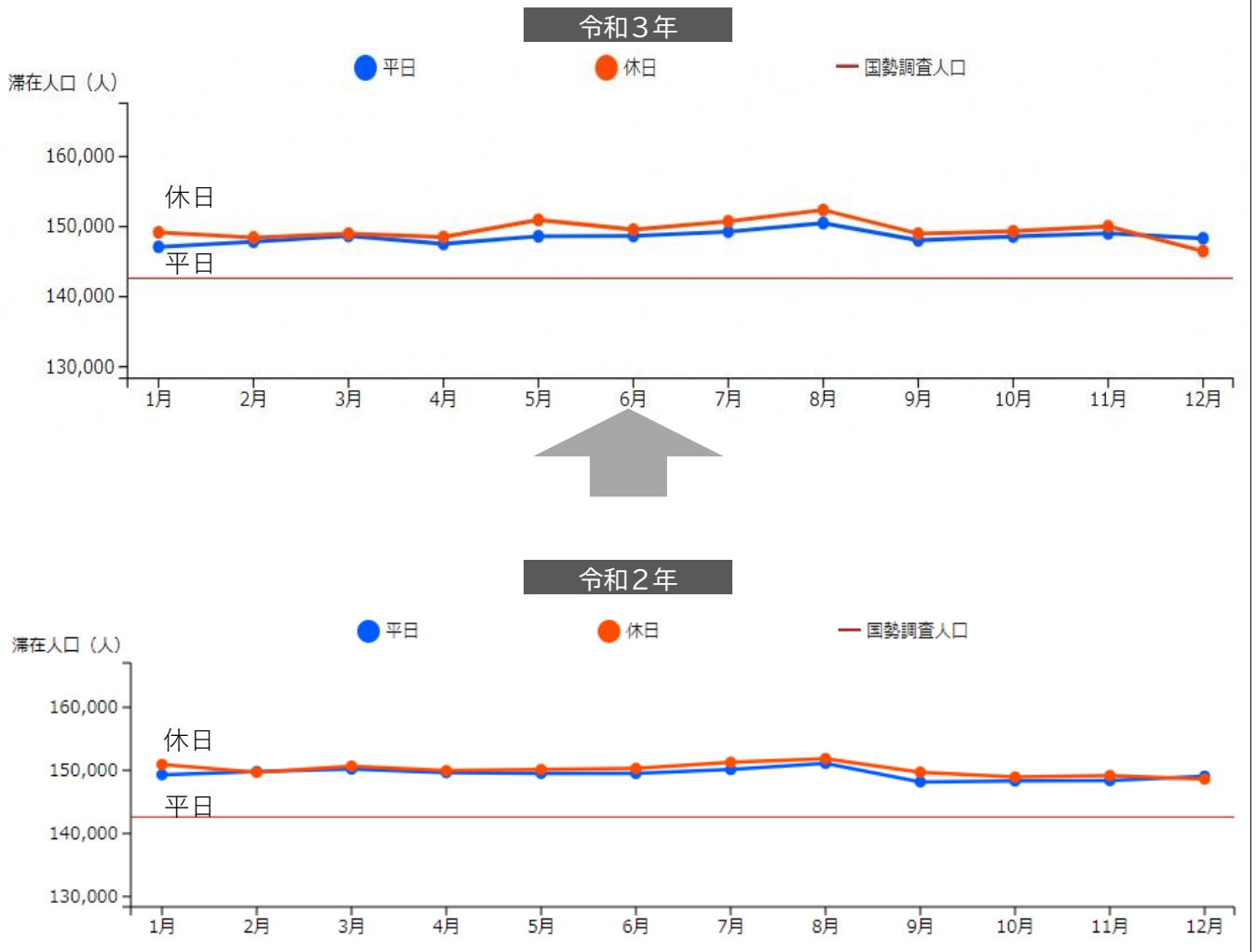
RESASの「滞在人口」分析は、国勢調査人口を基準として、どの程度の人数が市内に滞在しているか把握できるもの。

本頁は、夜間（4時）に滞在していた総数（15歳以上80歳未満）の月間平均値（平日・休日別）を表しているものである。

※上越市国勢調査人口（15歳以上80歳未満）…142,627人

- いずれの折れ線グラフも国勢調査による当市人口を上回っていることから、平日・休日ともに、市外の人が上越市に滞在していると推察される。
- P19の「昼間」の滞在人口と比較して、休日と平日との滞在人口の差が縮小していることから、当市を訪れる人の多くが日帰り客であると推察される。

滞在人口の月別推移（夜間〔4時〕）



出典：RESAS地域経済分析システム「滞在人口率」分析

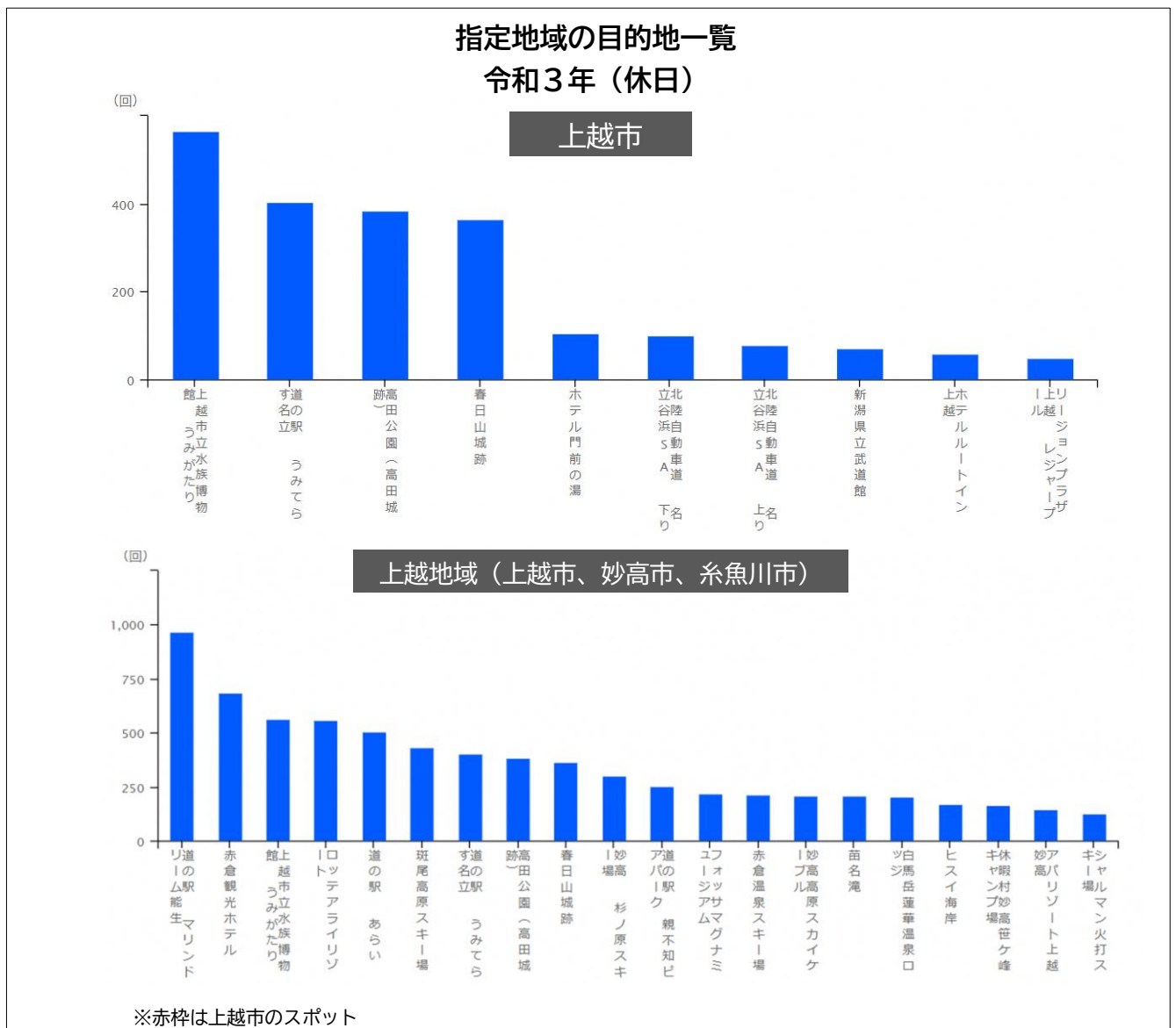
本グラフの表示方法：まちづくりマップ>滞在人口率>表示年月日を指定する>表示時間帯を指定する>表示する性別を指定する（総数）>表示する年代を表示する（15歳以上80歳未満）>グラフを表示

上越市と周辺地域における観光スポットの人気ランキング

RESASの「目的地分析」は、ウェブサイトやスマートフォン向けに提供されている経路検索サービスにおいて、ユーザーによる目的地の検索回数を把握できるもの。

本頁は、「令和3年・休日・自動車」での検索結果を表しているものである。

- 上越市の観光スポットの人気ランキングをみると、「うみがたり」や「うみてらす名立」、「高田城址公園」などが上位を占めている。
- 指定地域を上越市・妙高市・糸魚川市に拡大してみると、糸魚川市や妙高市の道の駅や、スキー場が上位に入る。



出典：RESAS地域経済分析システム「目的地」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>目的地分析>都道府県を選択>表示年月日を指定する>平日・休日を指定する>交通手段を指定する>目的地検索ランキングを表示

上越市観光交流ビジョンに基づく
上越市の観光に関するデータ集
令和5年4月 発行

発行 上越市
編集 上越市 文化観光部 魅力創造課
〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号
TEL (025) 520-5739 FAX (025) 520-5852
URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>